



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 28

発行 令和2年10月23日
発行責任者 校長 菅野 靖



生徒が輝く「結城祭」 大成功

10月17日（土）に、保護者の皆さまをお招きして、五箇中学校「結城祭」が体育館で開催されました。今年度の結城祭のテーマである「Be together as one ～心をついに～」をもとに、「ステージ発表」や「特設合唱部の発表」、「作品展示」が行われました。結城祭の「オープニングセレモニー」と「エンディングセレモニー」では、実行委員がそれぞれの持ち味を発揮し、素晴らしいパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げてくれました。各学年の「ステージ発表」では、どの学年も、脚本から演出まで生徒が主体的に取り組み、素晴らしい創造性を発揮して、演技を披露することができました。「特設合唱部の発表」では、「In Terra Pax」と「福笑い」の2曲を披露し、地球の平和や全世界の笑顔あふれる幸せへの願いがこもった歌声を体育館いっぱいに響かせました。「作品展示」は、国語の書写の作品、美術家の絵画の作品、1年生の家庭科の作品、3年生の修学旅行の陶芸体験での作品、総合的な学習の時間のレポートが体育館の後ろと両サイドの壁に掲示されました。どの作品も制作した生徒の思いが込められた素晴らしい作品ばかりで、優劣をつけがたく、審査員をうならせていました。午後の「芸術鑑賞」では、アルパ奏者の琴平メイさんによる演奏会が行われ、アルパの澄んだ音色と異国の文化を感じられるメロディーに心が癒されるひと時でした。



【全校生 エンディングセレモニー終了後】



【ピックアート】



【1年生 三匹のニー豚】



【2年生 美女と野獣】

今まで、何日間もかけて「結城祭」に向けての準備や練習をしてきた成果が発揮された1日でした。係の仕事や発表での役目など一人何役もこなしながら、生徒一人一人が、秘めている思いや能力を惜しみなく発揮し、それぞれの担当や活動の場面で活躍しました。今年の文化祭は、令和2年度の31名の生徒全員の活躍によりつくられた唯一無二の「令和2年度 結城祭」です。「令和2年度 結城祭」で、五箇中学校の新たな1ページをつくり、五箇中生の絆を深め、五箇中学校への思いが強くなったと思います。また、一つの目標を達成させるために、みんなで心をついに協力し合い、自分の役割を責任をもってやり切ることで、自分自身を大きく成長させることができたと思います。生徒に秘められたパフォーマンスの素晴らしさに感動し、圧倒され、思い出深い、大成功を収めることができた「結城祭」でした。今回の経験を、是非、今後の学習や自分の将来を切り開くために生かして欲しいと思います。



【3年生 転生したらシンデレラだった件】

今後も、子どもたちが、今以上に大きく健やかに育っていくためにも、全職員で指導していきたいと思いますので、引き続き、保護者の皆さまや地域の方々からのご支援とご協力を切に願っております。